



## DVD Studio Pro 4.1 に関する最新情報

この書類には、「DVD Studio Pro 4.1」に関する最新情報が記載されています。トピックは以下の通りです：

- 「DVD Studio Pro 4.1.2」に関する最新情報 (2 ページ)
- 以前の「DVD Studio Pro 4.1.1」に関する情報 (6 ページ)
- 以前の「DVD Studio Pro 4.1」に関する情報 (6 ページ)

**参考：**「DVD Studio Pro 4.1」は、PowerPC ベース、Intel ベースのどちらの Macintosh コンピュータ上でもネイティブに動作するよう設計されています。

この書類は、「DVD Studio Pro」の新しいバージョンがリリースされた場合、または新しい情報が公開された場合に、更新されることがあります。更新された情報は、「DVD Studio Pro」を開いているときに「ヘルプ」>「最新情報」と選択すれば確認できます。

製品のアップデート、使用上のヒントやテクニック、およびアップル認定の他社製デバイスに関する最新情報は、「DVD Studio Pro」の Web サイト (<http://www.apple.com/jp/finalcutstudio/dvdstudiopro>) を参照してください。

AppleCare からの最新情報については、「DVD Studio Pro」の「ヘルプ」メニューで「DVD Studio Pro のサポート」を選択します。新しいサポートのお知らせを自動的に受け取るには、AppleCare の DVD Studio Pro RSS ページ (<feed://docs.info.apple.com/rss/jp/dvdstudiopro.rss>) を「Safari」のブックマークに追加してください。RSS フィードの設定については、「Safari ヘルプ」を参照してください。

## 「DVD Studio Pro 4.1.2」に関する最新情報

「DVD Studio Pro 4.1.2」に関する最新情報は以下の通りです。

### 一般情報

以下の項目は、標準精細度 (SD) プロジェクトと高精細度 (HD) プロジェクトの両方に該当します。

#### 静止画を適切に処理

メニュー、トラック、スライドショーで使用されている静止画が適切に処理されるようになりました。以前は、DVD プレーヤーで再生した際に、メニュー、トラック、スライドショーで使用されている静止画にアーティファクトが現れる場合がありました。

プロジェクトの静止画にこの問題が起こった場合でも、「構築」コマンドを使えば、VIDEO\_TS フォルダや HVDVD\_TS フォルダ、およびその中にあるファイルを再作成できます。

**参考：**既存の VIDEO\_TS フォルダまたは HVDVD\_TS フォルダ、およびその中にあるファイルを再利用するか削除するかを確認するダイアログが表示されたら、「削除」オプションを選択します。「再利用」を選択しないでください。

#### 「DVD Studio Pro」で旧バージョンの構築ファイルを処理可能

旧バージョンの「DVD Studio Pro」で構築ファイルに含まれていた「.layout」ファイルが、現在の「DVD Studio Pro」で認識されるようになりました。

#### 「Compressor」でエンコードしたクリップを適切に連結

「DVD Studio Pro」では、タイムラインエディタでクリップを連結（各クリップをつなげて配置）し、それを適切に再生できるようになりました。以前は、連結したクリップをタイムラインエディタで再生した際に、再生ヘッドが2番目のクリップに達すると、ビデオが停止する場合があります。

**トランジション付きのスライドショーでスライドの順序を変えた際に出現した構築エラーを解消**  
トランジションを含むスライドショーでスライドの順序を変えても、プロジェクトの構築時にエラーが発生しなくなりました。以前は、プロジェクトの構築後にスライドの順序を変えると、プロジェクトを再構築する際に「無効なマーカー位置」に関するエラーが表示されることがありました。

#### プロジェクトベースのスタイルの問題が解決

「ファイル」メニューの「別名で保存」コマンドでプロジェクトベースのスタイルを含むプロジェクトを保存しても、新しいプロジェクトと共にスタイルを保存できるようになりました。以前でも、新しいプロジェクトと共にスタイル名を保存できましたが、実際にそのスタイルを使用することはできませんでした。

### 特殊文字を問題なく入力可能

メニューと字幕を追加する際に、「文字パレット」ウインドウ（「編集」>「特殊文字」でアクセスします）で入力した文字を問題なく使用できるようになりました。以前は、特殊文字がメニューのデフォルト色に従わないことがあり、特殊文字のせいでプロジェクトが開かなくなる場合もありました。

**参考：**この問題が原因で開かなくなったプロジェクトも、現在の「DVD Studio Pro 4.1.2」では開くことができます。

### DTS-ES ストリーム再生時の信頼性が向上

DTS Extended Surround (DTS-ES) ストリームを含む DVD Studio Pro プロジェクトでは、DVD プレーヤー再生における信頼性が向上しました。

### Intel ベースの Macintosh コンピュータでスラッシュ付きのフォルダを構築可能

Intel ベースの Macintosh コンピュータで「DVD Studio Pro」を使用している場合、構築フォルダ名にフォワードスラッシュが含まれていても（たとえば「Build 6/19/06」というフォルダ名でも）、プロジェクトを問題なく構築できるようになりました。PowerPC ベースの Macintosh コンピュータでは、この問題は起こりません。

### 「DVD Studio Pro」でサポートしていない HDV 形式

「DVD Studio Pro」では、以下の HDV 形式をサポートしていません：

- 720p24
- 720p25
- 1080p24
- 1080p25

「Compressor」を使用すれば、上記の HDV 形式を、サポートしている HDV 形式（720p30、720p60、720p50、1080i60、1080i50）に変換し、プロジェクトで利用することができます。以前は、上記の形式を SD プロジェクトに読み込むことはできても、低画質の SD 形式に変換されていました。「Compressor」を使用すると、上記の形式（およびそれ以外のあらゆる HD 形式のビデオ）を、SD プロジェクトで使用可能な SD 形式に変換できます。

## SD プロジェクトの問題

以下の項目は、SD プロジェクトにのみ該当します。

### SD プロジェクトの最大ビットレートの出荷時設定を修正

「DVD Studio Pro」の「環境設定」の「エンコーディング」パネルで「出荷時の設定に戻す」をクリックすると、「最大ビットレート」が7.0 Mbps に設定されるようになりました。以前は、このオプションをクリックすると、「最大ビットレート」が9.8 Mbps に設定されていました。

### PAL のミックスアングルトラックを適切に再生

DVD プレーヤーでの再生時に、PAL プロジェクトのミックスアングルトラックが適切に切り替わるようになりました。

## Intel ベースの Macintosh コンピュータで DLT ドライブを適切に実行

Intel ベースの Macintosh コンピュータに接続した DLT ドライブで、SD プロジェクトをフォーマットできるようになりました。

**参考：**DLT は現在、HD プロジェクトのフォーマット時には選択できません。詳しい情報については、5 ページの「レプリケーション用の HD DVD プロジェクトで DDP 3.0 または CMF 2.0 を使用」を参照してください。

## HD プロジェクトの問題

以下の項目は、HD プロジェクトにのみ該当します。

### SD プロジェクトから HD プロジェクトへの変換について

SD プロジェクトを HD プロジェクトに変化し、レプリケーション用にフォーマットしようとする場合、プロジェクトを変換する前に「ディスク」インスペクタの「リージョン/コピーライト」タブの「CSS 用フォーマット」チェックボックスが選択されていないことを確認してください。HD プロジェクトでは CSS (Content Scrambling System) をサポートしていないため、「CSS 用フォーマット」チェックボックスは、HD プロジェクトでは使用できません。また、SD プロジェクトでこのオプションが選択されていた場合、選択を解除することはできません。

「CSS 用フォーマット」を選択した状態の SD プロジェクトを HD プロジェクトに変換してしまった場合、「ディスク」インスペクタの「リージョン/コピーライト」タブにある「コピーライト管理」チェックボックスの選択を解除することによって、レプリケーション用の HD プロジェクトをフォーマットすることができます。

### 以前の HD プロジェクトを安定して再生

「DVD Studio Pro 4.1.2」の構築機能とフォーマット機能で作成された構築ファイルとディスクは、旧リリースで作成したものよりも高い信頼性を実現しています。できるだけ旧リリースの DVD Studio Pro HD プロジェクトを開いて、「DVD Studio Pro 4.1.2」の構築機能とフォーマット機能で構築ファイルとディスクを再作成してください。

**参考：**既存の HVDVD\_TS フォルダ、およびその中にあるファイルを再利用するか削除するかを確認するダイアログが表示されたら、「削除」オプションを選択します。「再利用」を選択しないでください。これで、新しいファイルの完全なセットが確実に作成されます。

### 赤色レーザーディスクに書き込んだ HD プロジェクトの信頼性が向上

赤色レーザーディスクに書き込んだ HD DVD プロジェクトは、HD DVD プレーヤーでより安定して再生されるようになりました。

一部の HD DVD プレーヤーでインターレース方式からプログレッシブ方式にビデオを切り替えられないインターレース方式のビデオを使ったエレメントからプログレッシブ方式のビデオを使ったエレメントにジャンプできるようにした HD プロジェクトでは、一部のセット・トップ HD DVD プレーヤーで再生する際に問題が発生します。この問題には、対象となる HD DVD プレーヤーのファームウェア・アップグレードで対応されることが予想されます。

### 一部の HD DVD プレーヤーでボタンのハイライト位置が適切に表示されない

一部の HD DVD プレーヤーでは、バックグラウンドが 720p または 1440i の場合、ボタンのハイライト位置を適切に表示できません。480i、480p、1080i のバックグラウンドでは、ボタンのハイライト位置が適切に表示されます。

## HD プロジェクトの AC-3 オーディオ

以下は、HD プロジェクトで Dolby Digital AC-3 オーディオファイルを使う際の問題に対する対応策です：

- HD DVDプレーヤーからのAC-3オーディオ出力は、外部デコーダで適切に処理されるようになります。
- Intel ベースの Macintosh コンピュータで「Compressor」を使ってエンコードした AC-3 オーディオファイルは、HD DVD プレーヤーで適切に再生されるようになります。

**重要：**「DVD Studio Pro 4.1.2」で作成した、AC-3 オーディオを含む HD プロジェクトを再生するには、アップルの「DVD プレーヤー」のバージョン 4.6.5 以降を使用する必要があります。このバージョンの「DVD プレーヤー」は Mac OS X v10.4.8 に同梱されています。

## IntelベースのMacintoshコンピュータで作成したHDプロジェクトの静止画メニューを適切に処理

Intel ベースの Macintosh コンピュータで作成した、静止画メニューを含む HD プロジェクトは、適切に構築および再生されるようになります。以前は、静止画メニューが黒いフレームとして表示されることがありました。

## H.264素材を使ったHDプロジェクトではアップルの「DVDプレーヤー」の最新バージョンが必要

「DVD Studio Pro 4.1.2」で作成した、H.264 ビデオを含む HD プロジェクトを再生するには、アップルの「DVD プレーヤー」のバージョン 4.6.5 以降を使用する必要があります。このバージョンの「DVD プレーヤー」は Mac OS X v10.4.8 に同梱されています。

## マルチアングル HD プロジェクトがより忠実に HD DVD 仕様に準拠

マルチアングルおよびミックスアングルトラックを使った HD プロジェクトは、ビットレート順守のため、構築時により詳細にチェックされるようになりました。以前はエラーなしで構築された HD プロジェクトでも、ビットレートに関するエラーが発生する可能性があります。

## レプリケーション用の HD DVD プロジェクトで DDP 3.0 または CMF 2.0 を使用

HD DVD プロジェクトをレプリケーション用にフォーマットする際、Disc DDP (Description Protocol) 3.0 および CMF (Cutting Master Format) 2.0 のどちらかを選択できます。ほとんどの HD DVD レプリケーションに DDP 3.0 または CMF 2.0 が必要になります。また、DLT は、HD プロジェクトのフォーマット時には出力オプションとして選択できなくなりました。HD プロジェクトの配布オプションについては、レプリケーション担当者に確認してください。

## HD プロジェクトの検証に関する問題について

レプリケーション用に HD プロジェクトをサブミットする際、レプリケータは、プロジェクトが HD DVD 仕様に準拠していることを確認するために、検証機能を使用する場合があります。プロジェクトに問題がないことを確認するために、レプリケータは、最新バージョンの検証機能を使用する必要があります。検証機能による警告について詳しくは、アップルのサポート記事 (<http://docs.info.apple.com/article.html?artnum=304992-ja>) を参照してください。

## HD DVD プレーヤーについて

ほとんどの HD DVD プレーヤーには、複数のファームウェア・アップデートがあります。HD DVD プレーヤーで最新のファームウェアが使用されていることを確認してください。

## 以前の「DVD Studio Pro 4.1.1」に関する情報

「DVD Studio Pro 4.1.1」で記載された情報は以下の通りです。

Intel ベースの Macintosh コンピュータで SD DVD プロジェクトフォーマットを適切に実行 DDP (Disc Description Protocol) および CMF (Cutting Master Format) オプションを使用した、レプリケーション用の DVD Studio Pro プロジェクトのフォーマットが、Intel ベースの Macintosh コンピュータで正しく動作するようになりました。

## 以前の「DVD Studio Pro 4.1」に関する情報

「DVD Studio Pro 4.1」で記載された情報は以下の通りです。この情報は、特定の項目を探しやすくするために、いくつかのセクションに分かれています。

### 一般情報

このセクションでは、「DVD Studio Pro」の全般的な使用方法に関する情報を記載します。

### DVD Studio Pro 4.1 HD DVD-Video 規格への準拠

「DVD Studio Pro 4.0.3」および「DVD Studio Pro 4.1」で作成した HD DVD プロジェクトは、新しい HD DVD の規格を定める HD DVD-Video 規格のバージョン 1.0 に完全に準拠しています。DVD Studio Pro バージョン 4.0、4.0.1、および 4.0.2 は、当時の最新の HD DVD-Video 規格 (バージョン 0.9) に準拠していました。

バージョン 1.0 の HD DVD-Video 規格には、「DVD Studio Pro 4.0.3」での HD プロジェクトの作成に影響するいくつかの変更があります。

**重要：** DVD Studio Pro バージョン 4.0、4.0.1、および 4.0.2 で作成された、HD ディスクは、HD DVD Video 規格バージョン 1.0 に適合する DVD プレーヤーとの互換性がありません。

**参考：** 古いプロジェクトは、「DVD Studio Pro 4.1」で開き、「構築」や「フォーマット」機能を使って、HD DVD-Video 規格バージョン 1.0 に適合する DVD プレーヤーと互換性のあるディスクを作成することができます。DVD Studio Pro バージョン 4.0、4.0.1、および 4.0.2 で作成された構築ファイル (「HVDVD\_TS」フォルダ内) は直接フォーマットすることができません。「構築」機能を使用して作り直す必要があります。

### アップルの DVD プレーヤーでの HD DVD の再生

「DVD Studio Pro 4.0.3」以降で作成した HD DVD ディスクを再生するためには、Mac OS X v10.4.4 に含まれているアップルの「DVD プレーヤー」をバージョン 4.6.5 以降にアップデートする必要があります。DVD プレーヤー 4.6.5 では、DVD Studio Pro バージョン 4.0、4.0.1、および 4.0.2 (HD DVD-Video 規格バージョン 0.9 に準拠) で作成された HD DVD ディスクも再生できます。

### 「グラフィック」タブのタイトルを調整する機能の統一

「グラフィック」タブのタイトルを調整する「タイプ別」および「自動レイアウト」オプションの機能が統一されました。

- タイトルを選択していない場合、「調整」>「タイプ別」または「調整」>「自動レイアウト」と選択するとすべてのタイトルに適用されます。
- タイトルを選択している場合、「調整」>「タイプ別」または「調整」>「自動レイアウト」と選択すると、選択しているタイトルだけに適用されます。

「グラフィック」タブでのタイトルの調整方法の詳細については、「DVD Studio Pro 4 ユーザーズマニュアル」を参照してください。

### QuickTime を使った MPEG-2 の書き出しについて

「DVD Studio Pro」では、MPEG-2の書き出し機能がQuickTimeに追加されません。「Compressor」を使って MPEG-2 ビデオを書き出すか、QuickTime ビデオを直接「DVD Studio Pro」に読み込んでください。内部の MPEG-2 エンコーダによってビデオがエンコードされます。

### 2 台のモニタを使用するコンピュータでのビデオ出力のサポート

「DVD Studio Pro」は、コンピュータのメインのビデオカードが2 台のモニタをサポートしている場合にのみ、外部モニタでのビデオ出力の表示をサポートします。「DVD Studio Pro」は、コンピュータに装着されている2 枚目のビデオカードを認識しません。

### Mac OS X のフォントパネルを使う

「DVD Studio Pro」では、Mac OS X の「フォント」パネルの「ファミリー」、「書体」、「サイズ」、「テキストのアンダーライン」、「テキストの取り消し線」の設定を使用できます。テキストまたはページのカラー設定をクリックすると、「カラー」パネルが開きます。このパネルでの変更内容が、テキスト、アンダーライン、および取り消し線に適用されます。（アンダーラインや取り消し線にフォントと別の色を付けることはできません。）「フォント」パネルのシャドウ設定も有効ですが、「DVD Studio Pro」ではコントロールできないため、意図していない結果を招く場合があります。「フォント」パネルのシャドウ設定ではなく、「DVD Studio Pro」の「メニュー」インスペクタの「メニュー」タブのシャドウ設定を使用することをお勧めします。

### Mac OS X のテキスト属性を読み込む

「テキストエディット」や「Keynote」など、アップルのテキストアプリケーションでテキストを入力し、「DVD Studio Pro」のメニューまたは字幕にコピーすると、カーニング、カラー、位置揃えなどの Mac OS X のテキスト処理機能を利用できます。

**参考：**テキストを「DVD Studio Pro」にコピーしても、行間設定は保持されません。

## 旧バージョンの「DVD Studio Pro」および「iDVD」のプロジェクトを開く

このセクションでは、「DVD Studio Pro」および「iDVD」の旧バージョンのプロジェクトを「DVD Studio Pro 4」で開く場合の情報を記載します。

### 項目の情報とスクリプトファイルを読み込む

「DVD Studio Pro」の以前のバージョン（1、2、または3）で保存された項目の情報またはスクリプトファイルは、「DVD Studio Pro 4」に読み込めません。項目の情報は、メニュー、トラックなどの要素が記述されたテキストファイルなので、それらの要素が含まれたプロジェクトを「DVD Studio Pro 4」に読み込み、次にその項目の情報を保存すると、項目の新規作成ができます。

### DVD Studio Pro 2 または DVD Studio Pro 3 プロジェクトのメニューおよび字幕のテキストが変わる

「DVD Studio Pro 2」または「DVD Studio Pro 3」で作成したプロジェクトを開く際、「DVD Studio Pro」内のメニューまたは字幕に入力したテキストがプロジェクトに含まれている場合、テキストの外観が変わる可能性があります。現バージョンの「DVD Studio Pro 4」では、4:3 と 16:9 の両方のアスペクト比、および NTSC と PAL の両方の解像度でテキストを適切に処理します。

### DVD Studio Pro 2 または DVD Studio Pro 3 プロジェクトの回転メニューテキスト項目が変わる

「DVD Studio Pro 2」または「DVD Studio Pro 3」で作成したプロジェクトを開く際、回転メニューテキスト項目がプロジェクトに含まれている場合、回転した項目の外観が変わる可能性があります。現バージョンの「DVD Studio Pro 4」では、メニューテキスト項目を歪みなく適切に回転させます。

### カスタムトランジションを移動した後でそのカスタムトランジションを使用した DVD Studio Pro 3 プロジェクトが動作しない

カスタム・アルファ・トランジションを移動した場合、そのトランジションを使用している「DVD Studio Pro 3」で作成したプロジェクトが適切にビルドされないことがあります。（VIDEO\_TS ファイルを再生すると、トランジションがスキップされます。）この問題を解決するには、別のトランジションを選択してから、トランジションが使用されている場所で再び目的のトランジションを選択します。

### 見つからない素材を持つ iDVD プロジェクトを開く

iDVD プロジェクトを「DVD Studio Pro」で開く際に、プロジェクトの素材が1つまたは複数見つからない場合、見つからない素材とそのパスを示すメッセージが表示されます。このプロジェクトを修正するには、「iDVD」で開き、見つからない素材を解決して、プロジェクトを保存します。こうすることで、プロジェクトは「DVD Studio Pro」で正しく開くようになります。

## 素材に関する情報

このセクションでは、「DVD Studio Pro」での素材の使用に関する情報を記載します。

### 1440 × 1080 の解像度では 16:9 のアスペクト比のみサポート

バージョン 1.0 の HD DVD-Video 規格では、アナモフィック 16:9 のアスペクト比のビデオだけにしか 1440 × 1080 の解像度を使用できないことが規定されています。バージョン 1.0 以前の HD DVD-Video 規格では、4:3 とアナモフィック 16:9 の両方のアスペクト比に 1440 × 1080 の解像度を使用できると規定されていました。

この HD DVD-Video 規格の変更は、1440 × 1080 の解像度の素材を読み込むときの動作に影響します：

- MPEG-2 または HDV :これらの素材は、MPEG ストリームに含まれているフラグによって、4:3 とアナモフィック 16:9 に区別されます。これらの素材のうちで、4:3 のフラグが付いたものは、「DVD Studio Pro」に読み込むことができません。
- H.264 または QuickTime (HDV を除く) :これらの素材は、4:3 とアナモフィック 16:9 に区別されません。これらの素材は「DVD Studio Pro」に読み込まれ、アナモフィック 16:9 として処理されます。これらの素材のうちで実際に 4:3 のものは、16:9 のアスペクト比に歪められます。1440 × 1080 の QuickTime 素材 (HDV または H.264 を除く) は、「DVD Studio Pro」に組み込まれている MPEG エンコーダによって、すべてアナモフィック 16:9 にエンコードされます。

また、この HD DVD-Video 規格の変更は、1440 × 1080 の解像度の素材を使用する DVD Studio Pro バージョン 4.0、4.0.1、および 4.0.2 のプロジェクトを開くときの動作にも影響します：

- 1440 × 1080 に設定されているトラック、メニュー、スライドショーなどを 4:3 の表示モードで使用する場合、これらの素材の表示モードが自動的に 16:9 レターボックスになります。
- 素材が MPEG-2 または HDV の場合、プロジェクトは開きますが、4:3 に設定されたこれらの素材はすべて非表示となり、不正なフォーマットであることと、置き換える必要があることが通知されます。この問題の対処としては、影響を受けた素材の名前を記録し、(保存せずに) プロジェクトを閉じて、名前がまったく同じアナモフィック 16:9 の素材に置き換え、再度プロジェクトを開きます。プロジェクトの素材が新しくなり、使用可能になります。
- 素材が H.264 の場合、それらはアナモフィック 16:9 素材として処理されます。これらの素材のうちで実際に 4:3 のものは、歪んだ表示になります。
- 素材が QuickTime の場合 (HDV または H.264 を除く)、エンコードのアスペクト比の設定が 16:9 に変更されます。これらの素材のうちで実際に 4:3 のものは、歪んだ表示になります。

### HD DVD プロジェクトで使用するために H.264 素材をエンコードする

「Final Cut Pro」または「Motion」からムービーを書き出し、H.264 フォーマットを使用する場合は、「Compressor」にある HD DVD プリセット用の H.264 を使用して、ビデオを DVD Studio Pro 互換にします。QuickTime で書き出さないでください。

「Compressor」でカスタム H.264 プリセットを作成した場合は、マルチパス設定を選択し、ビットレートを 18 Mbps 以下に設定して DVD の互換性を保証します。

現在は、480p (NTSC のみ)、576p (PAL のみ)、720p (NTSC および PAL) などのプログレッシブ H.264 ビデオフォーマットのみがサポートされています。1080i HD ビデオは、「Compressor」または「DVD Studio Pro」の HD MPEG-2 エンコーダを使って、HD DVD プロジェクトに追加できます。

### マーカーが設定された H.264 クリップを「Final Cut Pro」から書き出す

「Compressor」は、HD DVD プリセット用に H.264 を使用する際にチャプタマーカーを書き出しません。ユーザは、読み込み可能なチャプタマーカーのテキストファイルを作成する、または「DVD Studio Pro」でチャプタマーカーを手動で直接追加することができます。

### 「Final Cut Pro」の「Capture Scratch」フォルダの HDV ビデオを使う

「Final Cut Pro」が HDV ソースから取り込んだ HDV ビデオクリップを直接「DVD Studio Pro」に読み込むことはできません。HD DVD プロジェクトで使用できるように適切にフォーマットされるのは、「Final Cut Pro」から書き出された HDV ビデオクリップのみです。取り込まれたクリップには、正当なオープンおよびクローズ用 GOP 構造がありません。「Final Cut Pro」から書き出される HDV クリップには、正当なオープンおよびクローズ用 GOP 構造があります。

### アニメーション QuickTime コーデックを使う

コンピュータのパフォーマンスを大幅に低下させる可能性があるので、HD 解像度でアニメーションコーデックを使うことはなるべく避けてください。代わりに、Apple Intermediate Codec を使用することをお勧めします。

### レンダリングされた「Final Cut Pro」のリファレンスマービーを更新する

「Final Cut Pro」のリファレンスマービー（独立再生形式でないマービー）を DVD Studio Pro プロジェクトに読み込むことができます。Final Cut Pro シーケンスの一部でレンダリングが必要な場合は、レンダリングしてからマービーを読み込みます。「Final Cut Pro」で、レンダリングしたマービーの一部を変更する場合は、同じ名前を使用してマービーを再レンダリングしてから、前のリファレンスファイルを上書きする必要があります。「DVD Studio Pro」に戻ると、マービーが変更され、DVD Studio Pro プロジェクトが新しいマービーを使用するように更新されたというダイアログが表示されます。

### Final Cut Pro HDV マービーを更新する

「DVD Studio Pro」は、プロジェクトに読み込んだ後で変更した HDV マービーには再リンクできません。HDV マービーを読み込んだ後に更新した場合は、オリジナルのマービーを DVD Studio Pro プロジェクトから削除し、更新したマービーを読み込む必要があります。

### **Motion プロジェクトを読み込む**

「DVD Studio Pro」では、Motion プロジェクトを読み込む前に、「Motion」で書き出したりレンダリングしたりする必要はありません。ただし、「DVD Studio Pro」は、「DVD Studio Pro」でエンコードされたオーディオを除き、Motion プロジェクトのオーディオを再生できません。「DVD Studio Pro」の「環境設定」の「エンコーディング」パネルのデフォルト設定は、プロジェクトをビルドするまでエンコードする必要がある素材をエンコードしません。この設定は、プロジェクトの作成中にバックグラウンドで素材をエンコードするように変更できます。

**参考：**「QuickTime」または「Compressor」で Motion プロジェクトを「Motion」から書き出し、Motion プロジェクトではなく「DVD Studio Pro」に読み込んだ場合、オーディオは想定通りに再生されます。

### **iMovie HD プロジェクトを読み込む**

「iMovie HD」のプロジェクトは、プロジェクトファイルがすべて含まれた単独のパッケージとして保存されます。「iMovie HD 5.0.2」以前のバージョンで「プロジェクトを別名で保存」コマンド（「ファイル」メニュー）を使うと、パッケージ内のファイルが見つからなくなるため、新規のプロジェクトファイルを「DVD Studio Pro」に読み込めなくなり、プロジェクトのフォーマットがサポートされていないことを示す警告メッセージが表示されます。

新規のプロジェクトファイルを修正するには、「iMovie HD」でそのプロジェクトを開き、「ファイル」>「プロジェクトを保存」と選択します。こうすることによって、見つからなかったファイルがプロジェクトパッケージに追加され、プロジェクトを「DVD Studio Pro」に読み込めるようになります。

### **Apple テンプレートおよびシェイプを任意の場所にインストール可能**

「DVD Studio Pro 4.1」をインストールするときに、アップルから提供されたテンプレートとシェイプをインストールする場所を任意に選択できます。「DVD Studio Pro 4 ユーザーズマニュアル」には、アプリケーションバンドルの内部にのみインストールできるという記述がありましたが、これは誤りです。

### **プロジェクトのシェイプがプロジェクトバンドルに保存されない**

シェイプを読み込んで「このプロジェクトのみ」オプションを選択すると、プロジェクトバンドルに保存されるはずですが、しかし実際は、シェイプの現在の場所のリンクがプロジェクトバンドルに追加されます。プロジェクトを別のコンピュータに移動した場合は、シェイプを手動でコピーおよび再リンクする必要があります。

### **環境設定でシェイプの場所を変更した直後に、パレットにシェイプが表示されない**

アップルおよびカスタムのテンプレート、スタイル、およびシェイプの場所を「DVD Studio Pro」の環境設定で定義できます。場所を変更した場合、「DVD Studio Pro」を再起動するまで、シェイプはパレットに表示されません。

### アルファチャンネルを含む素材を使用して良好な結果を得る

アルファチャンネルを含むビデオ素材は、静止画でも動画でも、ドロップゾーンの素材として割り当てると非常に効果的です。「DVD Studio Pro」では、合成を制御するためのアルファチャンネルを使用して、メニューの背景上の素材を合成します。

最良の結果を得るには、ビデオをプリマルチプライ（シェイプ）してください。プリマルチプライされたビデオは、メニューエディタで使用したとき、アンチエイリアシングされた滑らかな縁が正しく表示されます。ビデオチャンネルがストレート（シェイプされていない）の場合は、メニューエディタで合成したとき、縁が正しく表示されません。

素材の作成に使用しているアプリケーションで選択が可能な場合は、プリマルチプライされたビデオを選ぶことをお勧めします。

### DTS オーディオには 48 kHz のサンプルレートが必要

「DVD Studio Pro」のプロジェクトに DTS オーディオファイルを読み込む場合は、48 kHz のサンプルレートを使用する必要があります。サンプルレートが 44.1 kHz の DTS ファイルでは、実際に耐える結果を得ることができません。

### 720 × 486 NTSC 静止画素材が自動的にスケーリングされる

一般に CCIR NTSC または D-1 と呼ばれる 720 × 486 の静止画素材を読み込む場合、「DVD Studio Pro」では、素材の高さが430行となるよう縦方向にスケーリングされます。この問題に対処するには、グラフィックプログラムで素材のサイズを 720 × 480 にスケーリングするかトリミングしてください。

### 作成したシェイプにマスクのエッジが表示される

シェイプのイメージのマスクレイヤー（最初のレイヤー）を、シェイプのグラフィックレイヤー（2番目のレイヤー）と同じサイズにした場合、グラフィックレイヤーの周囲にマスクレイヤーの一部が表示される場合があります。これは、シェイプのグラフィックレイヤーがマスクレイヤーと異なる形で処理されるためです。この問題を避けるには、マスクレイヤーをグラフィックレイヤーよりも若干小さく作成してください。

**参考:** イメージのマスクレイヤーは、シェイプに素材を表示する場合にのみ必要になります。シェイプに素材を表示しないのであれば、マスクレイヤーは空にすることができます（ただし、マスクレイヤー自体は必要です）。

## ビューアに関する情報

このセクションでは、「DVD Studio Pro」の「ビューア」タブの使用に関する情報を記載します。

### 素材によってはフィールドベースの画像が表示される

一部の素材には（主に 16:9 PAL 素材）、「ビューア」タブでの再生時にフィールドベースの画像が表示されるものがあります。「ビューア」タブの「設定」ポップアップメニューから「シングルフィールドで表示」を選択することにより、再生品質を向上させることができます。

## メニューに関する情報

このセクションでは、「DVD Studio Pro」でのメニューの作成に関する情報を記載します。

### 一部の DVD プレーヤーでハイライトの端が欠ける

一部の DVD プレーヤーでは、シェイプに含まれるハイライトグラフィックスの端が欠けることがあります。ほとんどの場合、クリップは気付かない程度のもので、ただし、円など一部の場所で、クリップが目立つことがあります。この問題を避けるには、小さな透過の輪郭をハイライトグラフィックスに追加してください。

### キーボードショートカットで設定した場合にテキストの配置が無効になる

テキストオブジェクトやボタンのテキストの配置をキーボードショートカットを使用して設定した場合、後からテキストを変更すると、テキストの配置が無効になります。たとえば、メニューにテキストオブジェクトを作成し、2 行のテキストを入力して、Shift+ コマンド + 右角かっこキー (]) を押してテキストオブジェクトの選択を解除すると、2 行のテキストは右揃えで配置されます。その後、どちらかの行の文字を選択して、色、フォント、文字などを変更すると、テキストが元の位置に戻ります（「テキストオブジェクト」インスペクタの設定による）。この問題を避けるには、「テキストオブジェクト」インスペクタか「ボタン」インスペクタの配置コントロールを使用して、テキストの位置を設定してください。

### メニューの項目情報で言語が保持されない

複数の言語に対応するメニューを作成し、その項目の情報を書き出した場合、項目情報には言語属性が含まれません。たとえば、3 つの言語をサポートするメニューを構成し、言語ごとに異なる背景とテキストオブジェクトを設定し、そのメニューを項目情報として書き出した場合、項目情報には最初の言語の背景と構成済みのボタンのみが保持されます。テキストはすべて削除されます（テキストオブジェクトは残ります）。

### メニューテキストの最後の文字が一部クリップされる

メニューエディタでテキストオブジェクトまたはボタンにテキストを追加する際、特にそのテキストが斜体の場合は、最後の文字が一部クリップされることがあります。使用する最後の文字とフォントによって、欠ける場合と欠けない場合があります。この問題を避けるには、テキストの最後に 1 つまたは複数のスペースを追加してください。

### オーバーレイに大きいフォントサイズを使用するとテキストオブジェクトが消える

テキストが画面の縦方向に収まらない大きさにフォントサイズを設定すると、テキストオブジェクトが消えます。テキストオブジェクトのテキストを選択した状態であれば、小さいフォントサイズを入力するとテキストが再び表示されます。選択状態でなければ、「編集」>「すべてを選択」と選択すると、テキスト（およびメニュー内のその他すべての項目）が選択されるので、小さいフォントサイズを入力してください。（ほかのテキストオブジェクトがある場合は、そのフォントサイズにもこの変更内容が適用されます。）

### ボタンの素材が自動的に更新されない

ドロップパレットの操作（「メニューエディタ」のボタンにトラックをドラッグするなど）の後でボタンの素材が自動的に設定された場合、そのトラックで使用される素材を後から変更しても、ボタンの素材は自動的に更新されません。トラックで使用される新しい素材に適合させるには、ボタンの素材を手動で選択する必要があります。

### Apple テンプレートのシンプルハイライトの色を変更するとエッジの表示が乱れる

Apple テンプレートでは、テンプレートのボタンの 4 つのカラーマッピング設定すべてに同じハイライト色を使用しています。テンプレートでは、ダークグレイとライトグレイのカラーマッピング設定の不透明度が下げられているため、ボタンのエッジには疑似的なエイリアス除去処理がされています。また、Apple テンプレートは、シンプル・オーバーレイ・モードに設定されています。

シンプル・オーバーレイ・モードのハイライト色を変更すると、4 つのカラーマッピング設定の 1 つ（黒色）だけを変更することになり、基本のハイライト色が変更され、ほかのハイライト色（一般的にはボタンのエッジに使用）は元の色のままとなります。たとえば、テンプレートで赤のハイライト色を使用していて、シンプルオーバーレイモードを使用してこれを青に変更した場合、ボタンの新しい青のハイライト色には赤いエッジが付きまます。

Apple テンプレートを変更した場合にボタンのエッジに異なるハイライト色が表示されないようにするには、「メニュー」インスペクタの「カラー設定」タブで「詳細」オーバーレイモードを選択して、4 つのカラーマッピングの色をすべて同じ色に設定します。

## プリマスタリングに関する情報

このセクションでは、「DVD Studio Pro」のプロジェクトの構築およびフォーマットに関する注意事項を記載します。

### デュアルスタンダードの DVD ディスクのサポート廃止

今後、デュアルスタンダードの DVD ディスクでフォーマットすることはできなくなります（デュアルスタンダードの DVD ディスクとは、SD プロジェクトの「VIDEO\_TS」フォルダと HD プロジェクトの「HVDVD\_TS」フォルダの両方を持つ赤色レーザーディスクです）。デュアルスタンダードの DVD ディスクを作成することは、バージョン 1.0 以前の HD DVD-Video 規格では可能でしたが、仕様の変更によりできなくなりました。

プロジェクトを構築またはフォーマットするとき、「DVD Studio Pro」によって、同じ構築フォルダに「VIDEO\_TS」フォルダと「HVDVD\_TS」フォルダの両方ができてしまうことが検出された場合は、ダイアログが表示され、続ける前にいずれかのフォルダを削除するように要求されます。

## HD プロジェクトと赤色レーザーディスクについて

HD プロジェクトを赤色レーザーディスクに書き込む方法には、レプリケータを使用する方法とシステムでディスクを作成する方法の2つがあります。

- DDP (Disc Description Protocol) を使用し、ディスクメディアに赤色レーザーを選択して、HDプロジェクトをDLTドライブまたはハードディスクへのレプリケーション用にフォーマットする場合、出力されるファイルは、3 倍速 DVD-ROM メディアとしてフォーマットされます。3 倍速 DVD-ROM メディアは、HD DVD プレーヤーで再生するために専用設計された赤色レーザーメディアで、青色レーザーメディアの代用として認められています。物理的には、ほかの赤色レーザーメディアと同じですが、HD DVD プレーヤーに赤色レーザーの 3 倍の速度で回転するように命令する設定が含まれています。これによりプレーヤーは、ビデオをスムーズに再生するのに十分な速度でデータを読み取ることができます。

**重要：**今回、3 倍速 DVD-ROM メディアは、DCA (Doug Carson and Associates) 社の使用許諾を得たレプリケータを使用した場合にのみ利用できます。ご使用のレプリケータで、HD DVDプレーヤー用赤色レーザーメディアのマスターを作成できるかどうか確認してください。

- HDプロジェクトをシステムで赤色レーザーディスクに書き込むと、作成したディスクは3倍速 DVD-ROM の仕様に準拠しておらず、HD DVD プレーヤーによっては再生できない場合があります。

**重要：**システムで作成した HD プロジェクトの赤色レーザーディスクは、アップルの「DVD プレーヤー」のバージョン 4.6.5 以降で再生可能です。

## 2 層 DVD-R メディアを使用する

システムに、新しい 2 層 DVD-R メディアへの書き込みができる DVD ドライブがある場合、「DVD Studio Pro」を使って DVD プロジェクトを 2 層メディアに書き込むことができます。ただし、いくつかの問題があります：

- 現状では、「DVD Studio Pro」には 2 層 DVD-R メディアが 2 層であることを識別する機能がないため、2 層プロジェクトを書き込むときに、DVD メディアの容量が不足しているのでプロジェクトを保存できない可能性がある、という趣旨の警告が表示されます。このメッセージは、ディスクが 1 層であるという前提に基づいています。「続ける」をクリックすれば、随時、どちらのディスクでも書き込みが行われます。
- 2 層プロジェクトを書き込む場合、設定された切り替えポイントは実際の層間切り替えに影響しません。代わりに、最初の層がいっぱいになるまで書き込みが行われ、次に 2 番目の層の書き込みに切り替わります。
- 一部の DVD プレーヤーでは層間の移動がシームレスに行われず、層の切り替え個所まで来ると、ディスクの再生が停止することがあります。

**重要：**作成しているプロジェクトでこれらの問題による影響が生じる場合には、2 層の DVD-R メディアを使用しないでください。

2 層 DVD+R メディアは、2 層プロジェクトの作成に使用できます。2 層 DVD+R メディアを使用する場合、「DVD Studio Pro」によって層間切り替えポイントが適用され、プロジェクトの指定どおり停止するように切り替えポイントが設定されます。

### **DLT ドライブへの書き込みがより確実に**

フォーマットされたプロジェクトに対して DLT ドライブに十分な容量がないことを検出する機能の精度が向上しました。以前は、「DVD Studio Pro」を特定のシステム構成で使用すると、DLT ドライブに十分な容量がないことを正しく検出できない場合があります。

### **空の VTS ブロックを追加すると、プロジェクトで指定可能なトラック数が増える**

プロジェクトに追加した各 VTS ブロックには、メニューとスクリプトに加え、1 つのトラックまたはスライドショーを含めることができます。異なる素材のフォーマットを使用するメニューをサポートするために、トラックまたはスライドショーがない VTS ブロックを追加する場合があります。この場合、VTS ブロックは、トラック、ストーリー、またはスライドショーを含んでいない場合でも、プロジェクトの上限ごとに 99 のトラック、ストーリー、およびスライドショーをカウントします。

### **DVD ドライブのサポート範囲の拡大**

「DVD Studio Pro」は、DVD-R ドライブに加え、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW、2 層ドライブへの書き込みをサポートしています。

DVD-RW または DVD+RW のメディアを使用する場合、「DVD Studio Pro」ではまずそのディスクにファイルが含まれているかどうかを確認します。ファイルが含まれていない場合は、フォーマットが始まります。ファイルが含まれている場合は、フォーマットを続行するとディスクのデータが消去されるという内容の警告が表示され、フォーマット処理を続行またはキャンセルできます。

### **FireWire-SCSI 変換アダプタを使用する**

さまざまな問題があるため、「DVD Studio Pro」のプロジェクトをプリマスタリングする目的で DLT ドライブまたは DVD ドライブを接続する場合は、FireWire-SCSI 変換アダプタを使用しないことをお勧めします。

### **Adaptec SCSI カードを使用したシステムでは CMF フォーマットの DVD ディスクを作成できない**

「DVD Studio Pro」では、Adaptec SCSI カードを使用したシステムに接続されたオーサリング DVD-R ドライブでは、CMF フォーマットの DVD ディスクを作成できません。Adaptec SCSI カードを使用するシステムでは、非 CMF フォーマットと DDP フォーマットのディスクの書き込み、および DLT ドライブへのサポートフォーマットの書き込みは可能です。アップルで確認済みの ATTO SCSI カードを使用するシステムでは、オーサリングドライブで CMF フォーマットの DVD ディスクを作成できます。

## **シミュレータに関する情報**

このセクションでは、「DVD Studio Pro」の「シミュレータ」の使用に関する情報を記載します。

### **シミュレータで字幕ストリームが誤って変更される**

シミュレータでトラックを再生しながら字幕ストリームを変更すると、字幕テキストの途中であっても、新しい字幕ストリームの現在の字幕がすぐに表示されます。正しい動作としては、DVD プレーヤーで再生する場合のように、現在の字幕クリップが終了するまで字幕ストリームが変更されず、新しいストリームの新しい字幕クリップが始まるまではそのストリームの字幕が表示されない形となります。

## スライドショーに関する情報

このセクションでは、「DVD Studio Pro」のスライドショー機能の使用に関する情報を記載します。

**一部の DVD プレーヤーでは、スライド間のトランジションによってオーディオが一時停止する**  
一部の DVD プレーヤーでは、トランジションを使用しているスライドショーを再生する際にオーディオが一時停止することがあります。この問題はほとんどの場合、DVD プレーヤーの光オーディオ出力を使用しているときに発生します。

## 字幕に関する情報

このセクションでは、「DVD Studio Pro」での字幕の作成および使用に関する情報を記載します。

### 右揃えにした字幕文字が右端でトリミングされる

字幕を作成して、テキスト位置を右揃えに設定した場合、右端の文字が一部表示されない場合があります。この問題は、左および中央に揃えた場合は起こりません。字幕を右揃えする必要がある場合は、左または中央に揃える設定を使用して、手動で右端に揃えてください。

## トラックエディタに関する情報

このセクションでは、「DVD Studio Pro」でのトラックの作成に関する情報を記載します。

### マルチアングルプロジェクトで HDV ビデオを使う

マルチアングルまたはミックスアングルの HD DVD プロジェクトを作成する場合、トラック内のビデオストリームは、最大で合計 24 Mbps（選択したビデオストリームにすべてのオーディオと字幕ストリームを加えた値）に制限されます。1080i HDV ビデオでは、マルチアングルで使用可能な最大ビットレートを上回る 25 Mbps のビットレートを使用します。720p HDV ビデオでは、19 Mbps のビットレートを使用します。これは、オーディオおよび字幕ストリームの数とタイプによっては、マルチアングルプロジェクトで使用できます。

### 一部の DVD プレーヤーでは、ストーリーの無効なストリームが再生される

「DVD Studio Pro」では、プロジェクト内の各ストーリーでオーディオおよび字幕ストリームを無効にできます。しかし、一部の DVD プレーヤーでは、無効にしたオーディオおよび字幕ストリームが再生されます。

### 一部の DVD プレーヤーでは 16:9 ビデオが正しく表示されない

一部の DVD プレーヤーでは、16:9 ビデオが 4:3 ビデオとして表示されます。

## DVD@ccess に関する情報

このセクションでは、「DVD Studio Pro」のプロジェクトで DVD@ccess を使う場合の情報を記載します。

### 一部の Windows コンピュータではプラグイン装置を使用した場合に DVD@ccess が自動的に作動しない

FireWire や USB ドライブなどのプラグイン装置に置かれた DVD の Web リンクは、Windows 2000 および Windows XP コンピュータでは機能しますが、Windows 98、Windows SE、および Windows ME コンピュータでは、DVD@ccess を再起動するか、非アクティブ化して再アクティブ化しない限り機能しません。

### **Web リンクが、同じウィンドウで開かれたり新しいウィンドウで開かれたりする**

Windows または Mac OS のデフォルト Web ブラウザとして「Netscape Navigator 6.x」を使用する場合、または Mac OS で「Safari」を使用する場合、DVD@ccess Web リンクをアクティブにすることに新しいウィンドウが開きます。「Internet Explorer」や以前の「Netscape Navigator」では、DVD@ccess のリンクは同じブラウザウィンドウに開きます。

### **一部の Windows コンピュータでは WinDVD 2.x DVD プレーヤーを使用した場合に DVD@ccess が機能しない**

Windows 2000、Windows XP、または Windows NT コンピュータ上の WinDVD 2.x (2.1 および 2.2) では、DVD@ccess のリンクは機能しません。

### **CoolDVD で DVD@ccess リンクを使用する**

Windows 2000 および Windows XP コンピュータで CoolDVD 1.1 を使用した場合、特定の Web リンクを一度しかアクティブにできません。現在、最新バージョンの「CoolDVD」ではこの問題は解決されています。

### **一部の Windows プレーヤーでは静止画メニューに割り当てられた DVD@ccess アクションが正しく機能しない**

「Media Player」を使用する一部の Windows XP コンピュータ、および「Power DVD」を使用するほとんどの Windows コンピュータでは、静止画メニューに割り当てられた DVD@ccess アクションは正しく機能しません。別のメニューに割り当てられた DVD@ccess アクションがアクティブになったり、メニューに最初にアクセスしたときだけアクションがアクティブになったりする場合があります。この問題を避けるには、DVD@ccess アクションを含むメニューをすべてモーションメニューとして作成します。

**一部の Windows コンピュータでは 8.3 ファイル名規則に従わないファイル名を使用できない**  
DVD ディスク上のファイルにアクセスするリンク (file:///NameofDVD/xxx.xxx など) で、8.3 ファイル名規則に従わない名前を含むものは、Windows NT 4 コンピュータではアクセスできない場合があります。

### **.VOB ファイルをコピーすると DVD@ccess リンクがアクティブになる**

DVD からハードディスクなどに .VOB ファイルをコピーすると、デフォルトの Web ブラウザが開き、DVD タイトルに組み込まれたすべての URL に接続しようとして、これは、DVD@ccess が実行されて DVD の全データを読み込むことにより起こります。

### **DVD@ccess リンクがアクティブ化の際に再生に影響する**

DVD@ccess で、Web ブラウザを使用して URL を開く場合、ビデオ再生のパフォーマンスのレベルはコンピュータによって異なります。速度の遅いコンピュータでは、DVD@ccess で URL を開く際にビデオ再生が中断される場合があります。

© 2007 Apple Inc. All rights reserved.

Apple、Apple ロゴ、DVD Studio Pro、Final Cut、Final Cut Pro、FireWire、iDVD、Keynote、Mac、Macintosh、Mac OS、および QuickTime は、米国その他の国で登録された Apple Inc. の商標です。DVD@ccess および Safari は、Apple Inc. の商標です。AppleCare は、米国その他の国で登録された Apple Inc. のサービスマークです。Netscape Navigator は、Netscape Communications Corporation の商標です。PowerPC、および PowerPC ロゴは、IBM Corp. からのライセンスに基づき使用される IBM Corp. の商標です。Intel、および Intel Core は、米国その他の国における Intel Corp. の商標です。

2007 年 2 月 26 日

J019-0925